

目標達成計画

作成日: 平成 29年 11月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映 家族との信頼関係をより深める為にも、利用者、家族と担当者がゆっくりと意見交換できる時間を持たれる事も良いのではないか。	・信頼関係を深める事により、気づき・相談等言える関係づくり、家族の協力を得て利用者の楽しみや安心に繋げていく。	・面会時、家族の方にゆっくりとした時間を過ごしていただくよう、一緒にお茶をしたりする場を設ける。、ご家族の都合を聞き、利用者、担当職員3人で外出(利用者の行きたい場所・思い出の場所、喫茶店)計画していく。 ・グループホームの行事への参加呼びかけを行う。 ・次年度のGHアンケートにて成果が確認できる項目を検討する。	12ヶ月
2	23	思いや意向の把握 安全に活動して頂く為にも、正常な重心で行動できるようトレーニングを入れられると良いのではないか。	・転倒なく安全に歩行が出来る。	・毎日のラジオ体操第一の継続。現在行っている手・下肢の運動、天気の良い日には園庭散歩を継続していく。 ・老健へ併設の強みを生かし、リハ職に正常な重心で行動出来る体操の指導を受け継続していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み 行政側で、重複申し込みの待機者を精査し正確な待機者数を把握してもらえよう働きかけられても良い。また、地区別の独居世帯や認知症予備軍の数値等について確認し、今後のホームの経営に活かされると良い。		・年6回の運営推進会議に北栄町地域包括支援センター職員の出席があり、町内グループホームの重複の申し込み者についての情報提供を依頼し待機者の確保に努めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。